

# 令和6年度部会活動について

令和6年8月7日  
震災伝承みやぎコンソーシアム事務局

# 1 前回までの振り返り

○伝承に関する3つの柱を元に、コンソーシアムの5つの目標を設定（R5第1回全体会）

## 3つの柱（県・基本方針、2021.4策定）

1. 震災の記憶・経験の蓄積と発信
2. 伝承や防災・減災に関する人材の育成と防災教育の推進
3. 多様な主体の連携による伝承の推進

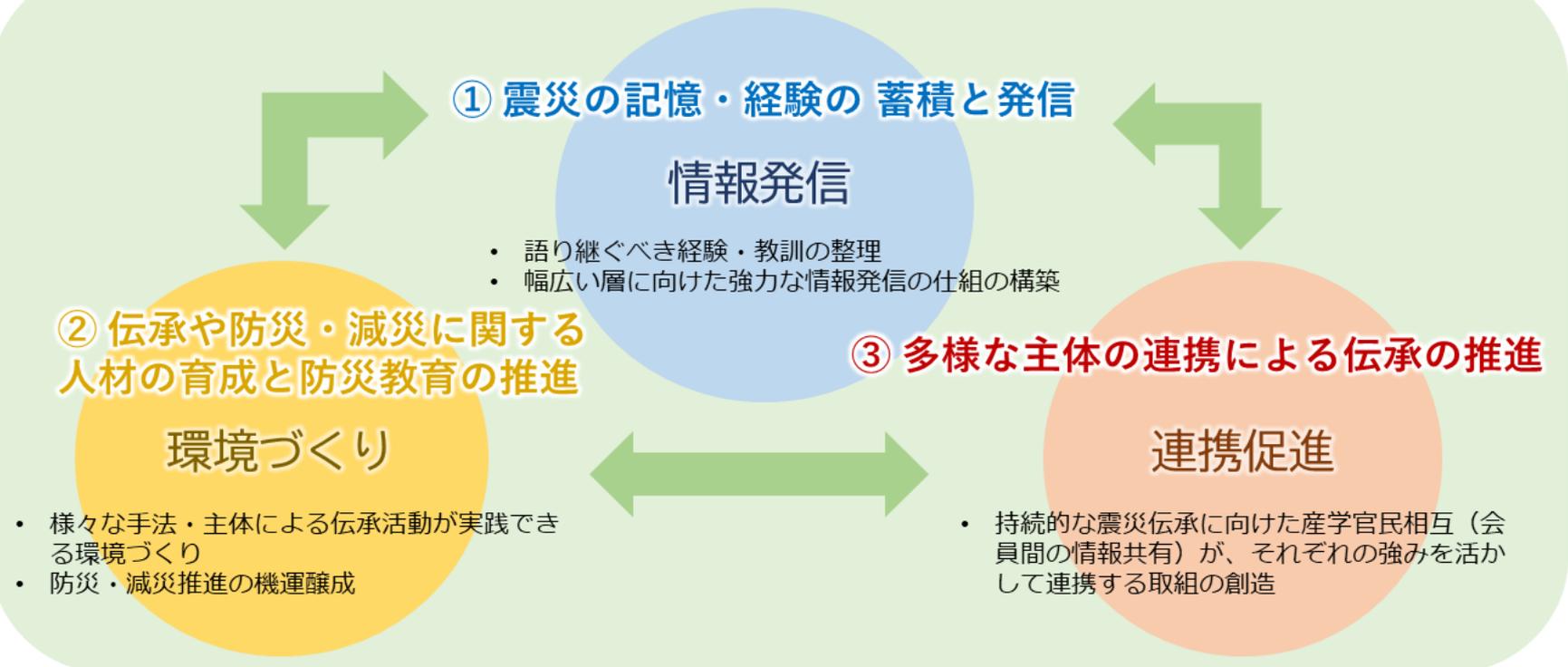
## 5つの目標

- ① 語り継ぐべき経験・教訓の整理
- ② 幅広い層に向けた強力な情報発信の仕組の構築
- ③ 様々な手法・主体による伝承活動が実践できる環境づくり
- ④ 防災・減災推進の機運醸成
- ⑤ 持続的な震災伝承に向けた産学官民相互（会員間の情報共有）が、それぞれの強みを活かして連携する取組の創造

# 1 前回までの振り返り

- 5つの目標（プロジェクト）から、具体的取組として、**3つの部会**（①②③）を立ち上げ
- 部会活動について、会員に2回のアンケートを実施済

## 震災伝承みやぎコンソーシアム



# 1 前回までの振り返り（アンケート1回目）

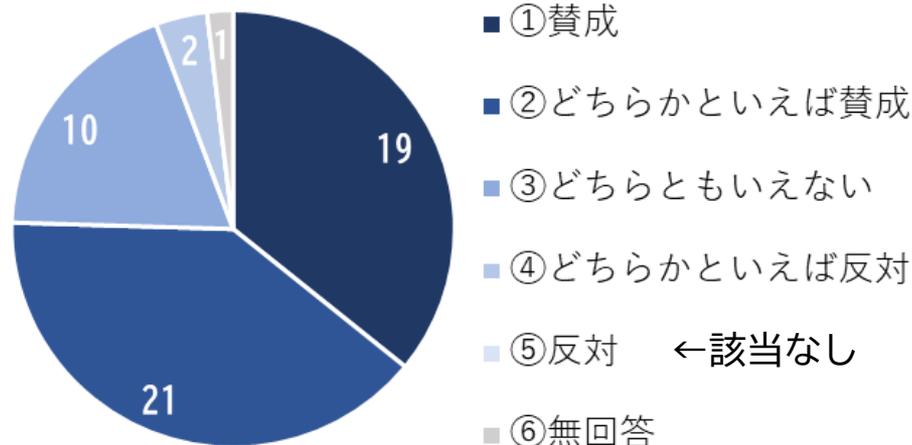
○ 令和5年12月26日付け（R5第2回全体会後）でコンソーシアム会員宛てアンケートを実施 ※令和6年度に部会活動を実施することについての意見照会

## ○結果

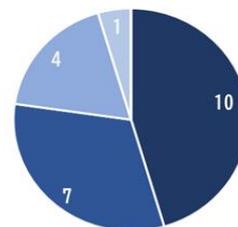
- 多くの皆様から部会活動の賛同（75.5%、伝承団体：77.3%）。
- 一方、自団体の活動との兼ね合いや、具体的なイメージが見えないことがやや不安等の意見もあり。

問1 部会活動についての賛否

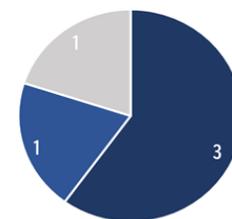
問1 賛否（全体集計）



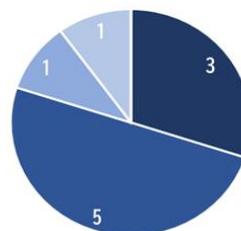
問1 賛否（伝承団体等）



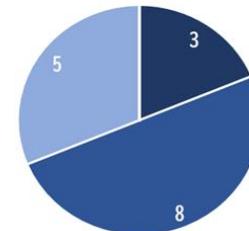
問1 賛否（報道機関）



問1 賛否（企業等）



問1 賛否（行政機関）



# 1 前回までの振り返り（アンケート1回目）

## ○アンケート（1回目）を踏まえた方針

### ➤ まずはこの3部会でやってみる

## ○R5第3回全体会（令和6年1月22日実施）での意見交換の中で皆様からいただいた主な意見

- 部会間での連携が必要。
- 行政主体ではなく、民間主体の自由な発想で活動すべき。
- 1団体1部会に限定せず、関心のある部会には参加できた方が良い。

# 1 前回までの振り返り（アンケート2回目）

○ 令和6年3月1日付け（R5第3回全体会后）でコンソーシアム会員宛てアンケートを実施 ※所属を希望する部会についての意見照会

- 会員の皆様のうち約半数から部会参加のご意向
- オブザーバーとしての参加も同程度の希望

○ アンケートでいただいたご意向で次のとおり整理。

- 第1希望＋第2・3希望：部会員
- それ以外の会員は各部会の「オブザーバー」として、随時関心のある部会に参加

※R5第4回全体会部会のご意見を踏まえ、部会開始後の参加も可とする

## <備考>

- 部会に参加を希望する団体が部会の構成員（部会員）
- 新年度の活動開始時点では、アンケート問1（所属したい第1希望の部会）、問3（第1希望ではないが、参加を希望する部会）で選択した部会に所属

# 1 前回までの振り返り（アンケート2回目）

## ○ 進め方等

- 年4回（全体会との合同開催含む）程度の部会開催を予定。
- 日程調整に当たっては、部会員の予定を優先。
- 積極的なWEB会議の活用。
- 部会の進捗については、随時コンソーシアム会員と共有。

## ○ 事務局体制

- 事務局（宮城県復興支援・伝承課）が事業調整をサポート（ファシリテート、資料作成等を含む）。
- 事務局は必要に応じて他部会メンバーやオブザーバーに対して情報提供や協力依頼の調整を行う。

## ○ 事業費支援

- 1部会につき150万円を上限として補助。
- 補助に当たり、共同事業計画と構成団体の個別計画の策定を行い交付決定（事務局が策定支援）。
- 計画は単年度。

# 各部屋へ移動

情報発信部会 → 大会議室（このまま）

環境整備部会 → 201会議室

連携促進部会 → 202会議室

### ○ コンソーシアムの5つの目標と3つの部会の対応を再確認

#### 震災伝承みやぎコンソーシアム

(参考) アンケートで例示した事業  
・教育旅行誘致セミナーへの参加  
・県外への出張語り部 など

#### ① 震災の記憶・経験の蓄積と発信

情報発信

- ・語り継ぐべき経験・教訓の整理
- ・幅広い層に向けた強力な情報発信の仕組の構築

#### ② 伝承や防災・減災に関する人材の育成と防災教育の推進

環境づくり

- ・様々な手法・主体による伝承活動が実践できる環境づくり
- ・防災・減災推進の機運醸成

- ・人材育成のための研修会の開催
- ・学校向け防災教材の作成 など

#### ③ 多様な主体の連携による伝承の推進

連携促進

- ・持続的な震災伝承に向けた産学官民相互（会員間の情報共有）が、それぞれの強みを活かして連携する取組の創造

- ・共同伝承プログラムの開発
- ・県内伝承施設スタンプラリーの開発 など

### 各部会の流れ

1. メンバーの顔合わせ（5分）
  2. これまでの意見を踏まえた意見出し＋議論（40分）
  3. 今後の予定（仮）（5分）
  4. 部会長・副部会長の選定等（5分）
- 15時10分に大会議室への移動を開始します。
  - 今日の議論の内容を簡単にまとめ、部会長に発表していただきます。
  - 時間厳守でご協力をお願いします。